



令和4・5年度 港区教育委員会研究奨励園

麻布幼稚園だより

令和4年6月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

水無月となりました。予報では、そろそろ梅雨入りをするようです。晴れた日には、砂遊びや水を使った遊び、園内の草木や虫などの自然に関わる遊びを、雨の日には、室内の遊び、体を動かす遊びの工夫をしていきます。

大人にはちょっと厄介なこともある梅雨ですが、この時期ならではの天候や自然物に興味・関心をもたせ楽しんでいきたいと思えます。

先日開催の「心の子育て講座」には、たくさんのご参加をいただきありがとうございました。講師の安岡定子先生には、論語の章句の内容から子育てにおいて大切にしたいことを分かりやすくお話いただきました。

その中の、「性、相近し。習い、相遠し。」は、習慣や行動は大切であるということです。幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、その後の学校教育の生活や学習の基礎が培われます。

幼児期から身に付けさせたい習慣とは、どのようなことでしょうか。それは、「挨拶 返事ができること」「靴が揃えられること」「よい姿勢でいられること」といった、大人にしてみれば当たり前のことです。当たり前のことではありますが、「挨拶 返事」ができるということは、挨拶や返事をする相手の状況や様子が分かること、相手を大切にすることにつながります。「靴（物）」が揃えられることは、心を整えること、自分の行動に責任をもつことにつながります。「よい姿勢（立腰）」でいることは、意欲をもつこと、考え行動することにつながります。

「早寝 早起き 朝ごはん 朝ウンチ」の生活習慣で健体康心。明るく機嫌よく過ごすことを基盤に、よい習慣を身に付けさせていきたいですね。大人の私たちが実践する姿を見せること、した方がよいことを子供たちがしたときには大いに褒めて自信や次への意欲を高めてあげたいものです。

よい習慣は興味や意欲をもち物事に取り組む力、努力をする力となり、その積み重ねは人格を形成していきます。「やらされている」「やらなければならないから」と思いながらするのではなく、「楽しそう」「やってみよう」と自分で考え進んで行動することは、小学校以降の学びにも大きく関わっていくものです。

園庭のアジサイが色付き、夏野菜がぐんぐん育つこの時期、子供たちとの生活や遊びを充実させていきたいと思えます。